

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 149

事務事業名	健康・福祉まつり開催事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	山田 操	内線	152

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020101	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		健康づくりの推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	3	健康増進費
事業コード	021000	健康福祉まつり開催事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 市民		
意図	対象をどのような状態にしたいか 健康・福祉まつりに参加した市民が、様々な健康づくり運動や福祉活動を体験し、知識を得ることで、健康づくりや福祉活動に対する意識を高める。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 年1回、健康・福祉に関係がある団体等で組織する健康・福祉まつり実行委員会に委託し、シーハットおおむらで、健康・福祉に関する講演や展示、健康チェック、体験型コーナーなどを実施するまつりを開催する。		
事業期間	平成 4 年度 ~ 平成 年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 健康・福祉まつり参加団体数	計画値	56	0	56	60	
		実績値	56	0	56		
		達成度	%	100.0%		100.0%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 健康・福祉まつり参加者数	計画値	4,000	0	5,000	5,000	
		実績値	4,800	0	4,500		
		達成度	%	120.0%		90.0%	
	② アンケート調査による健康づくり・福祉活動に関する意識の変化	計画値	100.0	0.0	100.0	100.0	
		実績値	65.0	0.0	74.0		
		達成度	%	65.0%		74.0%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,485	0	700	700	700	700	700	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	1,485		700	700	700	700	700	
② 人件費(千円)	4,038	1,080	2,723	3,113	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.48	0.14	0.32	0.38	健康・福祉まつり開催	健康・福祉まつり開催	健康・福祉まつり開催	
時間外勤務(時間)	93	11	233	175				
嘱託等人数(人)	0.02							
フルコスト(①+②千円)	5,523	1,080	3,423	3,813				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】 の改善・改革の進捗等)	保育フェアと同時開催することにより集客を図っている。
事業が抱える問題・課題等	開催方法や事業内容の見直しについて検討が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	少子高齢化が進展する中で、健康づくりと福祉活動に着目した市民参加のイベントの開催は、市民が安心して暮らせる社会づくりのために重要な取り組みである。						
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
関係各団体に健康・福祉まつりへの参加を要請し、コーナー企画をとりまとめてイベントを開催するためには、市が主体となる必要がある							
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	事業の一環として、ピンクリボン運動に取り組み、乳がん検診に関する情報を提供し、市民の関心を高めることができています。						
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
健康づくりを推進するためには自ら健康に関する市民一人ひとりの意識の高揚が重要であり、本事業の目的達成による施策効果は高い。							
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	健康に関するイベントに交付される補助金等の要綱を調べ、交付条件にあてはまるものに積極的に事業費補助を申請する。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
事業の趣旨により、参加者から料金を徴収することは適切ではない。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	より多くの市民が参加できるイベントとすることにより健康と福祉活動に対する意識の高揚を図っていく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。